授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
小児看護学概論	1年次	後期	1	30	有

科目責任者	小瀧　亜矢子
授業概要	小児の対象である子どもについての理解を深めるために子どもの権利、成長発達の特徴、子どもを取り巻く家庭や社会の状況から総体的に子どもを理解し、小児の看護ケアの基本となる内容を学ぶ
目標	1. 家族ともに子どもの権利を擁護する小児看護の考え方を理解することができる。 2. 現代の子どもとその家族を取り巻く状況について理解できる。 3. 小児各期の成長・発達と日常生活と援助、健康の保持増進のための看護について理解できる。 4. 子どもに関する主な法律や政策について理解できる

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	小児看護の対象、目的、役割　小児看護の変遷と課題 子どもの権利と倫理配慮	小瀧	講義
2	子どもと家族を取り巻く社会資源の活用　（母子保健施策・小児保健医療施策・医療費の支援）	小瀧	講義
3	子どもにとっての予防接種（予防接種法）　臓器移植法学校感染症予防（学校保健安全法）特別支援教育	小瀧	講義
4	子どもの成長・発達の原則と影響因子 子どもの成長発達のアセスメント	小瀧	講義
5	新生児・乳児期・幼児期・学童期・思春期各期の形態、機能的特徴 生活面での成長・発達	小瀧	講義・演習
6	新生児・乳児期・幼児期・学童期・思春期各期の形態、機能的特徴 生活面での成長・発達	小瀧	講義・演習
7	新生児・乳児期・幼児期・学童期・思春期各期の形態、機能的特徴 生活面での成長・発達	小瀧	講義・演習
8	新生児・乳児期・幼児期・学童期・思春期各期の形態、機能的特徴 生活面での成長・発達	小瀧	講義・演習
9	新生児期・乳児期の養育および看護	小瀧	講義
10	幼児期の養育及び看護	小瀧	講義
11	学童期の養育及び看護	小瀧	講義
12	思春期の看護	小瀧	講義
13	小児と家族	小瀧	講義
14	子どもの環境と事故	小瀧	講義
15	復習	小瀧	講義

履修条件	なし
テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　小児看護学①小児看護学概論　小児臨床総論　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　小児看護学②小児臨床看護各論　医学書院　（14回目に使用）
参考書	なし
評価方法	試験（100%）